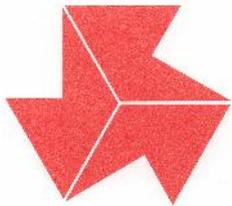


令和元年度
長野県高等学校新人体育大会
剣道大会

侍

チャレンジング



高校新人大会

挑戦的に・意欲的に・やりがい求めよう

期 日	令和元年 11 月 16 日 (土) 11 月 17 日 (日)
会 場	長野県松代高等学校体育館
主 催	長野県高等学校体育連盟 長野県教育委員会
共 催	(公財) 長野県スポーツ協会 (一財) 長野県剣道連盟
後 援	長野市教育委員会 信濃毎日新聞社
主 管	長野県高体連剣道専門部

県高体連ホームページ <http://www.ngn-hssp.org>
メール koutairen@ngn-hssp.org

問合せ先 専門委員長 榛葉 亨 (南安曇農業高等学校)
TEL 0263-72-2139

令和年度 長野県高等学校新人体育大会剣道大会役員表

名誉会長	長野県知事	阿部 守一
名誉顧問	長野県副知事	太田 寛
		小岩 正貴
大会会長	長野県高等学校体育連盟会長	北村 桂一
大会副会長	長野県高等学校体育連盟副会長	宮本 隆
		松村 秀寿
新津 英人		
埋橋 浩		
杉村 修一		
	長野県高等学校体育連盟剣道専門部長	鈴木 道穂
顧問	長野県教育委員会教育委員	伏木 久始
		矢島 宏美
		荻原 健司
		塚田 裕一
	(公財) 長野県スポーツ協会副会長	中澤 眞弓
		小坂 壮太郎
		児玉 幹夫
		萩原 清
	長野県教育委員会教育長	林 泰章
		北村 桂一
長野県教育委員会教育次長	原山 隆一	
(一財) 長野県剣道連盟会長	轟 寛逸	
長野市長	三輪 晋一	
参与	長野県教育委員会事務局参事兼高校教育課長	加瀬 浩明
	長野県教育委員会事務局参事兼スポーツ課長	加藤 久雄
	(公財) 長野県スポーツ協会理事長	塩野 英雄
	(公財) 長野県スポーツ協会専務理事	内山 充栄
	(公財) 長野県スポーツ協会事務局長	林 泰章
	(一財) 長野県剣道連盟副会長	茅野 繁巳
		宮本 伸一
	長野市教育長	折口 築
長野県高等学校体育連盟加盟高等学校長 [氏名省略]	藤 極 清 隆	
大会委員長	長野県高等学校体育連盟理事長	北原 一正
	長野県高等学校体育連盟副理事長	依田 房生
		近藤 守
		大谷 雅亮
大会副委員長	長野県高等学校体育連盟副理事長	久保田 武
		島崎 剛
委員	長野県高等学校体育連盟剣道専門委員長	原 正彦
		島崎 貴史
	長野県教育委員会事務局スポーツ課企画幹兼課長補佐兼管理係長	榛葉 亨
	長野県教育委員会事務局スポーツ課教育主幹兼学校体育係長	北島 隆英
	長野県教育委員会事務局スポーツ課主任指導主事体育スポーツ振興係長	齋藤 毅
長野県高等学校体育連盟剣道専門委員	桑原 俊樹	
	朝田 将幸	
長野県高等学校体育連盟理事 [氏名省略]	藤原 慎吾	
		木下 孝繁

審判・係表

大会長	鈴木 道穂						
審判長	青柳 俊幸						
副審判長	榛葉 亨						
競技委員長	榛葉 亨						
競技委員	朝田 将幸	藤原 慎吾	木下 孝繁	市村 涉			
審判員	前嶋 功	竹内 訓好	佐藤 勉	宮崎 浩	前嶋 輝		
	大草 務	有坂 清明	竹内 泰久	松蔦 晴康	神津 純		
	山岸 禅	飯島 涼太	柳澤 剛	酒井 博	山口 雅子		
	仁木 邦彦	若林 康彦	河面 佑	高柳 剛士	大友 孝志		
	小平 一	安部 博文	丹羽 貴	小林 里海	鎌原 央典		
	鈴木 英介	後藤 将史	西澤 佳志	本島 尚之	今井 裕敬		
	中島 和成	目須田威彦	武田 朋大	八幡 大輔	小町谷良一		
	中体連・剣道連盟審判員						
試合場主任	池田 直樹	小林 真史	桐生 賢蔵	細野 雅也	吉田 正紀		
	番場 利秀	山下 裕也	青砥 雅之				
救護	長野県高体連剣道専門部						
検量	山岸 禅	前嶋 輝	武田 朋大	飯島 涼太			
記録	市村 涉	相馬 勇一					
会場	木内 理恵						
報道	木下 孝繁						
補助員指導	朝田 将幸 (佐久長聖 上田西 須坂創成 松代 長野日大 松商学園)						

試合運営事項

①足袋・サポーター使用について

- ・床の接地面に皮・合皮・ゴムは不可。

②試合進行について

- ・1日目昼食時間は、個人戦終了後。個人戦表彰式は、閉会式で行う。
- ・2日目昼食時間は、準々決勝後を予定（試合の進行状況で変更あり）。
- ・個人戦、団体戦ともに三位決定戦を行なう。
- ・審判目合せは個人戦2試合終了後、団体戦1試合終了後、試合場ごとに実施する。（二日目同様）

③試合方法について

- ・個人戦 4分3本勝負 時間内に勝敗が決しない場合、時間を区切らず延長戦を行う。
(延長開始から15分を目安に給水時間を設ける)
- ・団体戦 4分3本勝負 延長2分1回 勝敗が決定した後の延長戦は行わない。

④竹刀の検量について

- ・検量は1回のみ、検量不合格の竹刀は本部預かりとします。
- ・竹刀には校名・氏名を明記すること。模様付鏢・滑り止め加工の柄の使用は禁止します。
- ・検量は一人2本としてください。追加は試合当日本部対応します。

15日16時00分～17時30分、16日・17日 7時40分より行います。

⑤5人に満たないチームとの対戦は、対戦校が不戦勝ちとする場所を指定する。なお登録が5人であって、試合開始時に欠員がでた場合も上記と同様とします。

日 程

11月16日(土)

開場(選手)	7:30
開場(応援者)	8:00
検量開始	7:40
審判・監督者会議	8:30
開会式	9:15
競技開始	9:45

11月17日(日)

開場(選手)	7:30
開場(応援者)	8:00
検量開始	7:40
審判・監督者会議	8:30
開始式	9:15
競技開始	9:30
閉会式	15:30

[練習会場]

東体育館は15日13:00より使用可能。西体育館は会場準備後に使用可能。

11月16日(土)

第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
男子個人戦 試合番号 1~8、17~20 25・26・29 女子決勝戦 男子決勝戦	男子個人戦 試合番号 9~16、21~24 27・28・30	女子個人戦 試合番号 1~8、17~20 25・26・29 女子三位決定戦 男子三位決定戦	女子個人戦 試合番号 9~16、21~24 27・28・30
女子団体戦 1回戦 試合番号 1	女子団体戦 1回戦 試合番号 2・3	女子団体戦 1回戦 試合番号 4	女子団体戦 1回戦 試合番号 5・6
男子団体戦 1回戦 試合番号 1~4	男子団体戦 1回戦 試合番号 5~8	男子団体戦 1回戦 試合番号 9~12	男子団体戦 1回戦 試合番号 13~16

11月17日(日)

第1試合場	第2試合場	第3試合場	第4試合場
女子団体戦 2回戦 7・8	女子団体戦 2回戦 9・10	女子団体戦 2回戦 11・12	女子団体戦 2回戦 13・14
男子団体戦 2回戦 17・18	男子団体戦 2回戦 19・20	男子団体戦 2回戦 21・22	男子団体戦 2回戦 23・24
女子準々決勝 15 男子準々決勝 25	女子準々決勝 16 男子準々決勝 26	女子準々決勝 17 男子準々決勝 27	女子準々決勝 18 男子準々決勝 28
女子準決勝 19 男子準決勝 29		女子準決勝 20 男子準決勝 30	
女子決勝戦 男子決勝戦		女子三位決定戦 男子三位決定戦	

*選手席について以下の点に注意して下さい。

個人戦…選手・監督（監督不在の場合は付添い1名）が試合場に入れます。

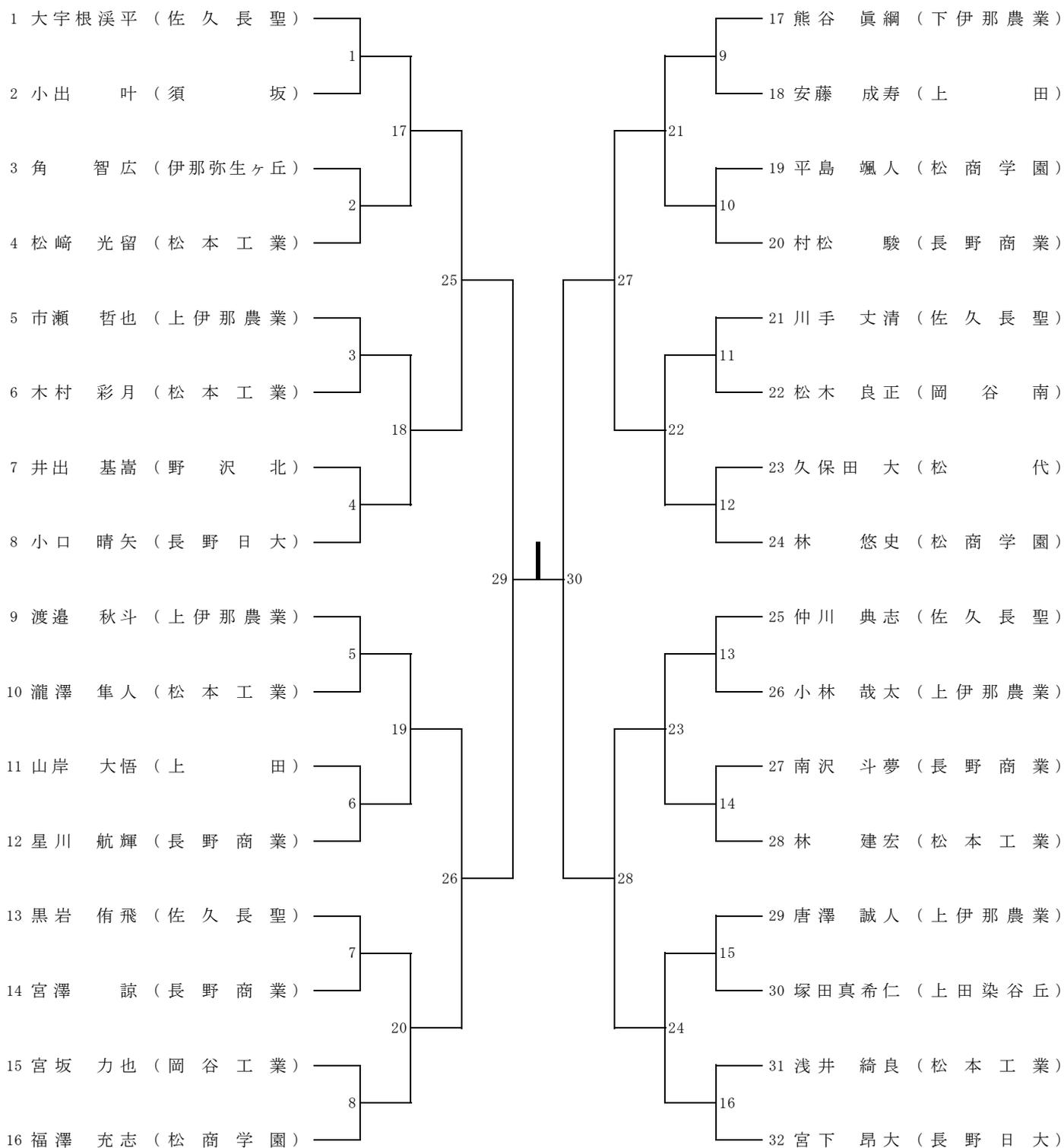
団体戦…男女別で選手・補員・監督（補員が不在の場合は付添い1名）が試合場に入れます。

それ以外の部員は、決められた場所から応援をして下さい。

連絡事項

- ・ 11月15日（金）練習は、東体育館で13：00から18：00です。
西体育館は会場設営終了後～18：00まで使用することができます。
- ・ ゴミはすべて持ち帰りにご協力ください。※ゴミ袋の持参をお願いします。
- ・ 下足は各学校でビニール袋を用意し、管理をしてください。
- ・ 監督・外部指導者の方は、背広・ネクタイで試合場へ入って下さい。
- ・ 北信越大会について
本大会の男女上位4チームが、令和2年2月1・2日北信越高等学校剣道新人大会に出場する（富山県砺波市）。
参加料 1チーム 17,000円
- ・ 応援席はシートや物を置いての場所取り、生徒を使つての場所取り等にご遠慮ください。
- ・ 全国高体連申し合わせ事項ならびに努力目標、生徒確認事項については剣道専門部ホームページにて確認してください。
- ・ 応援の方の駐車場は旧松代駅駐車場、「コトリの湯」駐車場をお願いします。学校敷地内は、役員、審判員、監督の駐車場とします。
学校近隣の路上、近隣店舗、青垣公園への駐車はしないようにしてください。
- ・ 本年度は台風19号の被害により、松代高校の体育館を使用させていただくことになりました。
つきましては、会場が狭く応援の方のスペースを十分に確保することができません。選手のスペースを最優先としていただき、応援はその他のスペースを入れ替えながら使用してください。
くれぐれも、独占しないようお願いいたします。

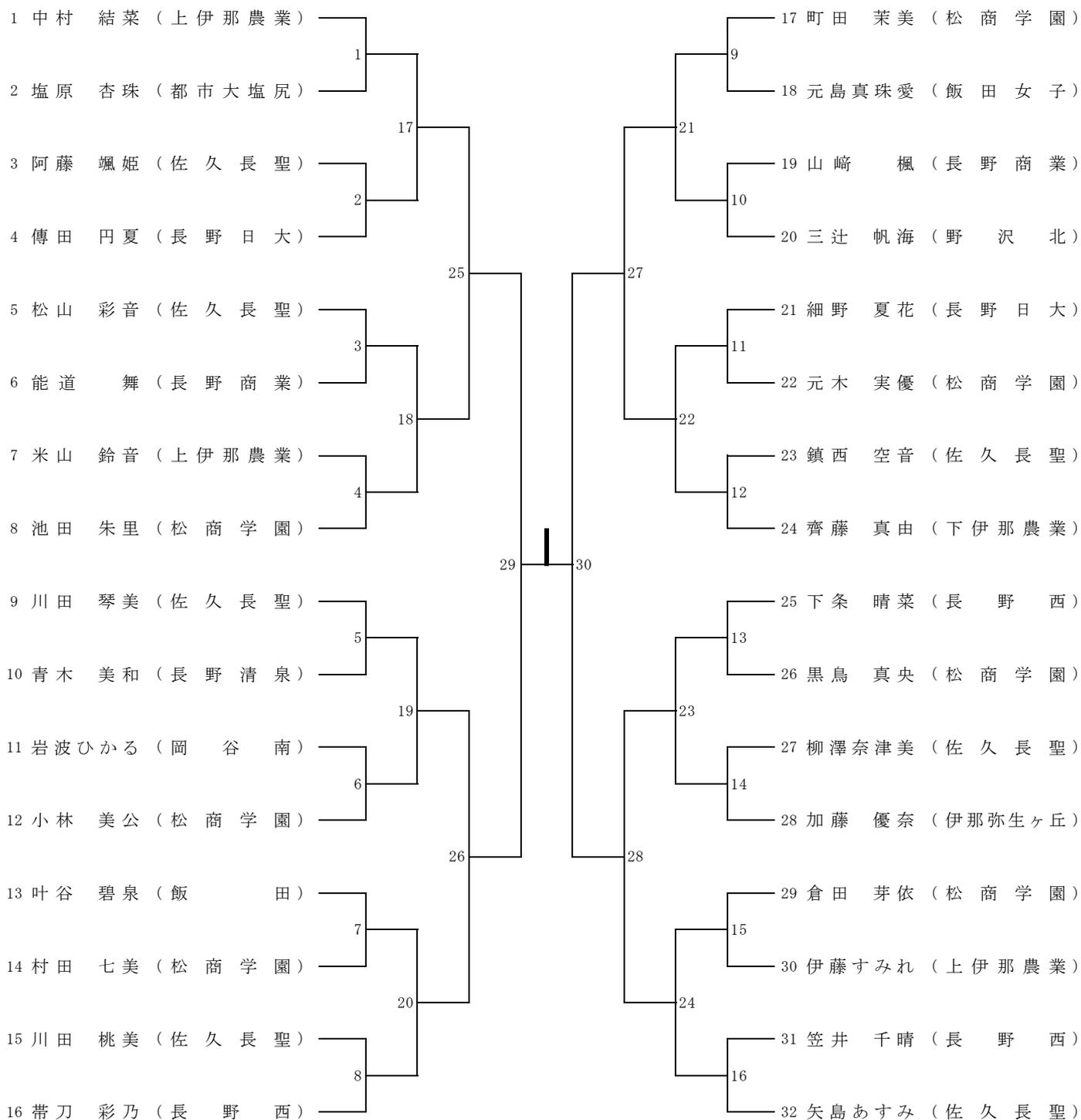
男子個人



三位決定戦



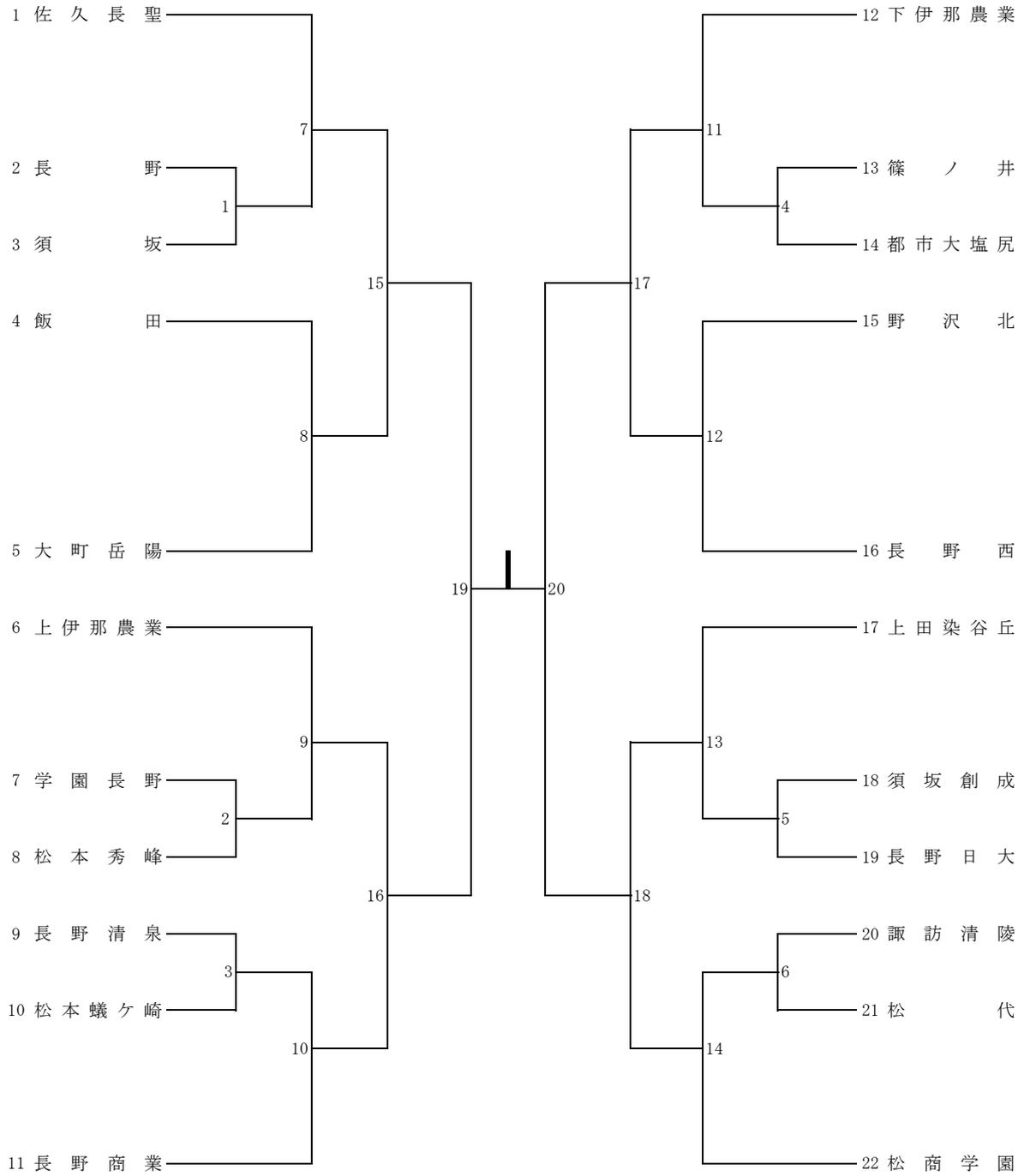
女子個人



三位決定戦



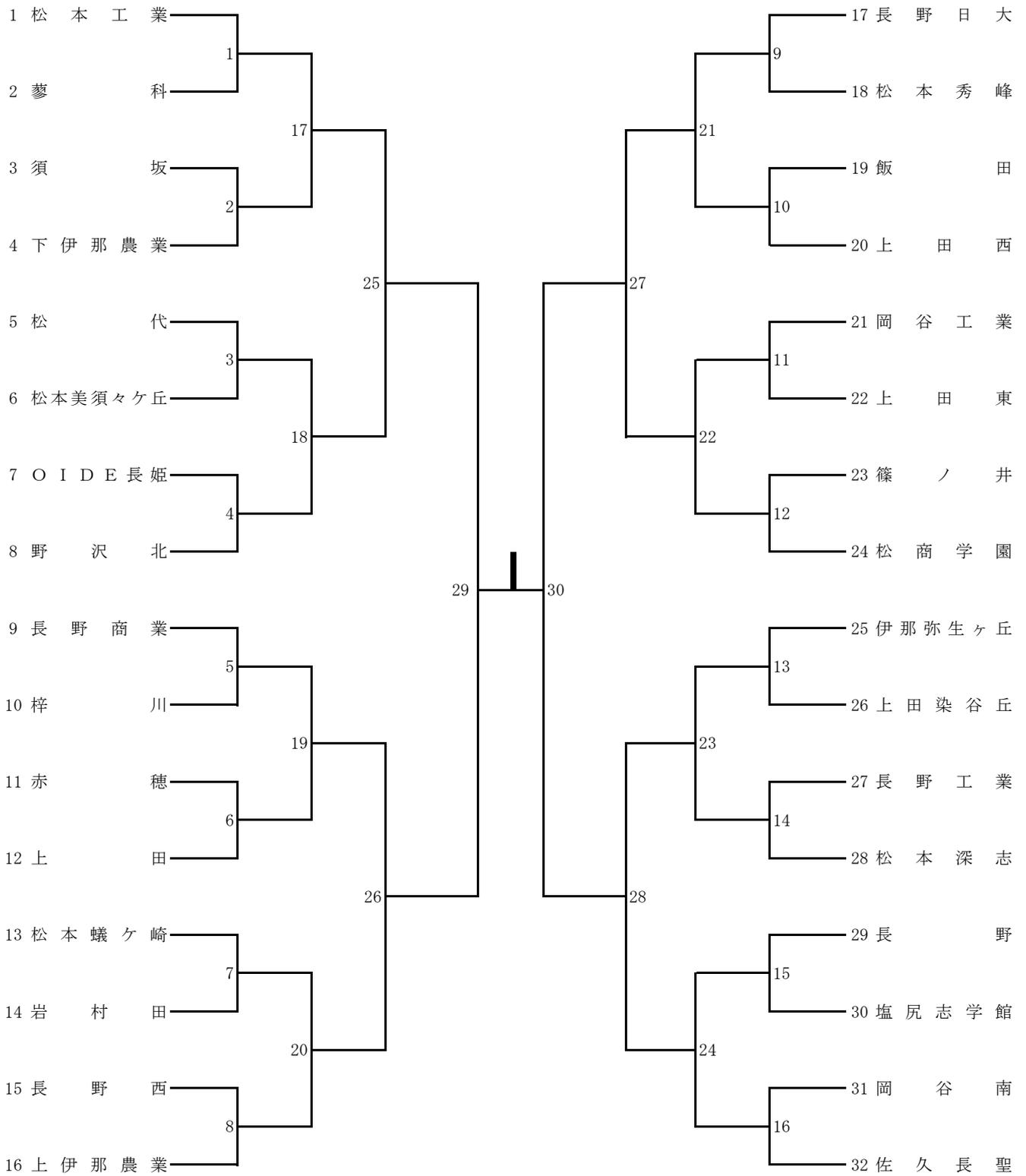
女子団体戦



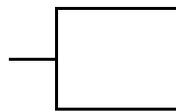
三位決定戦



男子団体戦



三位決定戦



長野県高等学校新人体育大会剣道大会参加選手名簿

女子団体(北信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	長野商業	古畑	能道	大瀬	山崎	河合	山岸	豊嶋
2	長野西	鶴崎	脇坂	下条	帯刀	笠井	岡村	武井
3	長野日大	伊藤	小野塚	森廣	細野	和田	松本	傳田
4	須坂	中村	小林	山崎	星野	佐藤	飯沼	
5	長野清泉	青木花	廣岡	山岸	小久保	青木美		
6	松代	金井	石川	滝沢	待井	春原		
7	篠ノ井	伊藤	山腰	松澤	加藤	宮下	笠原	唐木田
8	長野	近藤	三坂	酒井	小島	齋藤		
9	学園長野	若林	宮岡	利根川	大田			
10	須坂創成	松山	中村	高橋	川住	徳永		

女子団体(東信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	佐久長聖	川田桃	山口	川田琴	松山	矢島	阿藤	鎮西
2	上田染谷丘	上條	上沢	成澤	渡辺	市川		
3	野沢北	三辻	傳村	小林				

女子団体(南信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	下伊那農業	齊藤	市村	水野	竹内	吉川		
2	上伊那農業	伊藤	中村	米山				
3	飯田	叶谷碧	村下	叶谷望				
4	諏訪清陵	百瀬	高森	河西				

女子団体(中信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	松商学園	小林	倉田	町田	元木	池田	黒鳥	井口
2	大町岳陽	小川	山下	丸山	細井			
3	松本秀峰	岩渕	望月	小笠原	上村	宮下	樋沢	
4	都市大塩尻	塩原	松田	大庭				
5	松本蟻ヶ崎	清水	池田	バーグバーン				

長野県高等学校新人体育大会剣道大会参加選手名簿

男子団体(北信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	長野日大	越山	宮本	宮下	小口	鈴木	北村	伊藤
2	長野商業	星川	南沢	松岡	宮澤	竹内	村松	西澤
3	松代	岩下	轟	小林大	久保田	関	川島	青木
4	長野	宮澤	大日方	中村	百瀬	藤本	山根	深澤
5	須坂	牧	小出	滝澤	黒岩	中野	佐藤	裏
6	長野工業	由池	帯刀	宮尾	八橋	小林	宮沢	徳永
7	篠ノ井	大谷	竹花	大久保	真島	湯本		
8	長野西	刀根川	山岸	宮川	横内	宮崎		

男子団体(東信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	佐久長聖	黒岩	小平	川手	仲川	大字根	井出	
2	野沢北	千住	成澤	井出	風間	宮下	岩下	高山
3	上田	塩川	井出	山岸	山賀	安藤	巖	
4	上田西	五十嵐	舟久保	清水	関海	西村	栗橋	笠原
5	岩村田	井出	甘利	小泉	青木	倉坂		
6	上田東	遠田	廣田	土方	小山	伊藤		
7	上田染谷丘	山崎	内藤	櫻井	塚田			
8	蓼科	小林奎	小林侃	笹井	土屋			

男子団体(南信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	上伊那農業	唐澤	花井	渡邊	小林	市瀬		
2	伊那弥生ヶ丘	小椋	唐澤	池上	角	有賀	永井	
3	岡谷工業	河西	小林	中澤	宮坂	篠塚	井戸	高木
4	下伊那農業	熊谷	島	榛葉	北原			
5	飯田	神原	宮内	平澤	櫻井			
6	赤穂	埋橋	小林	中島				
7	OIDE長姫	小椋	梶	熊谷	杉山			
8	岡谷南	奥山	今泉	阿部	中島	松木	竹原	宮下

男子団体(中信地区)

順位	学校名	先鋒	次鋒	中堅	副将	大将	補員	補員
1	松本工業	松崎	関森	木村	瀧澤	林	橋倉	浅井
2	松商学園	赤羽	平島	福澤	滝川	林	高山	寺澤
3	松本深志	小高	北原	塩原	坂井	曾根原	堰免	
4	松本蟻ヶ崎	鈴木	小瀬	木野	田下	川前	田	
5	塩尻志学館	窪田	和地	平林	有賀			
6	松本美須ヶ丘	平澤	松本	百瀬				
7	梓川	山田	丸山	石井	加藤			
8	松本秀峰	花岡	萩元	鈴木				

剣道具、竹刀等

<下線変更点>

細則 第2条 規則第3条（竹刀）は、次のとおりとする。

1. 竹刀の構造は四つ割りのものとし、中に異物（先革内部の芯、柄頭のちぎり以外のもの）を入れてはならない。ピース（四つ割りの竹）の合わせに大きな隙間のあるものや安全性を著しく損なう加工、形状変更をしたものを使用してはならない。各部の名称は第2図のとおりとする。
2. 竹刀の基準は、表1および表2のとおりとする。ただし、長さは付属品を含む全長であり、重さはつば（鐙）を含まない。太さは先革先端部最小直径（対辺直径）およびちくとう部直径（竹刀先端より8.0センチメートルのちくとう対角最小直径）とする。また、竹刀は先端部をちくとうの最も細い部分とし、先端から物打に向かってちくとうが太くなるものとする。

（剣道具）

規則 第4条 剣道具は、面、小手、胴、垂を用いる。

細則 第3条 規則第4条（剣道具）は、第3図のとおりとする。

1. 面部のポリカーボネート積層板装着面は、全日本剣道連盟が認めたものとする。
2. 面ぶとんは、肩関節を保護する長さがあり、十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
3. 小手は、前腕（肘から手首の最長部）の2分の1以上を保護し、小手頭部および小手ぶとん部は十分な打突の衝撃緩衝能力があるものとする。
4. 小手ぶとん部のえぐり（クリ）の深さについては、小手ぶとん最長部と最短部の長さの差が2.5センチメートル以内とする。

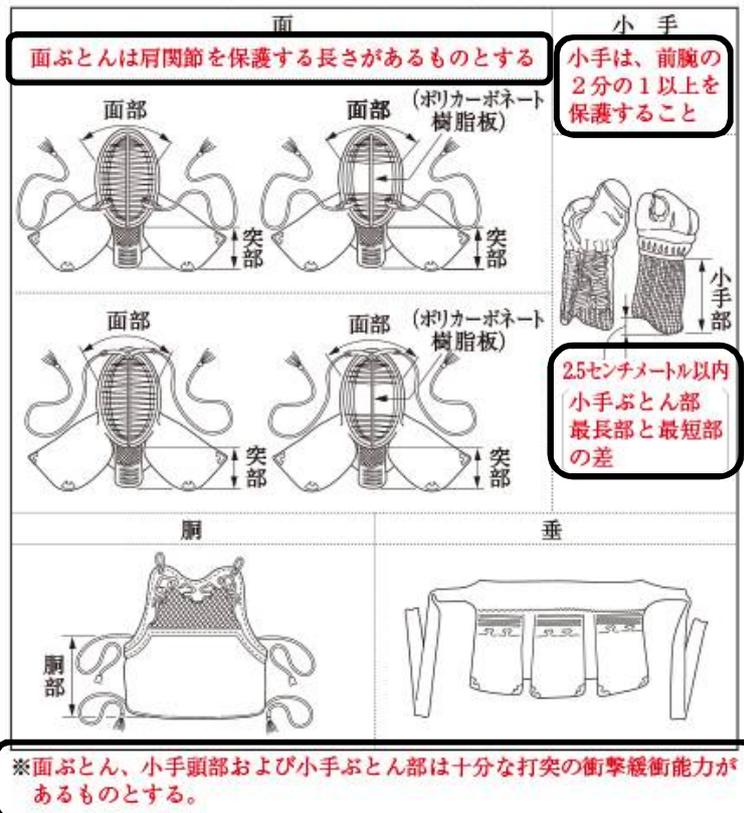
細則 第3条の2 剣道着の袖は、肘関節を保護する長さを確保したものとする。

細則 第15条

規則第17条第1号の不正用具とは、規則第3条に規定する竹刀（細則第2条で定める規格を満たしているものに限る）および同第4条に規定する剣道具（第3図に図示する面、小手、胴、垂）以外のものをいう。なお、細則第3条第2号から第4号および同第3条の2の基準に合致しない剣道具または剣道着は不正用具としない。この場合、試合終了後に審判員から注意を与える。

規則改正の部分は罰則ではなく注意

第3図 剣道具および打突部位



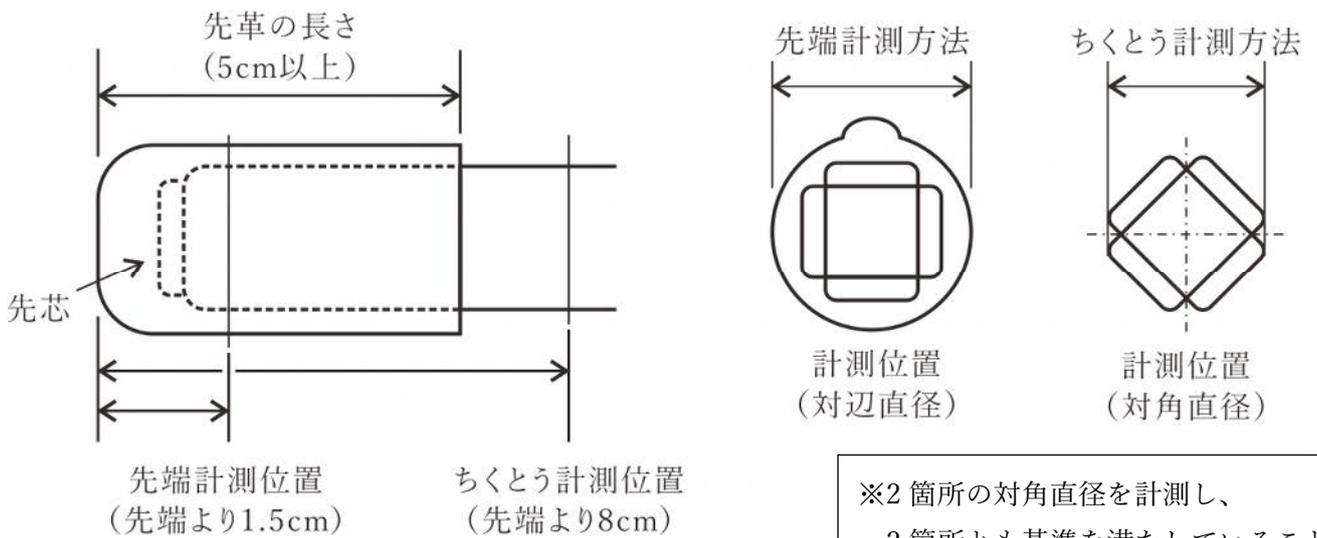
竹刀関連

竹刀の基準（高校生）

		男子	女子
長さ		117cm 以内	
重さ		480g 以上	440g 以上
先革の太さ	先端部最小直径	26mm 以上	25mm 以上
	ちくとう最小直径	21mm 以上	20mm 以上

※新基準

計測方法



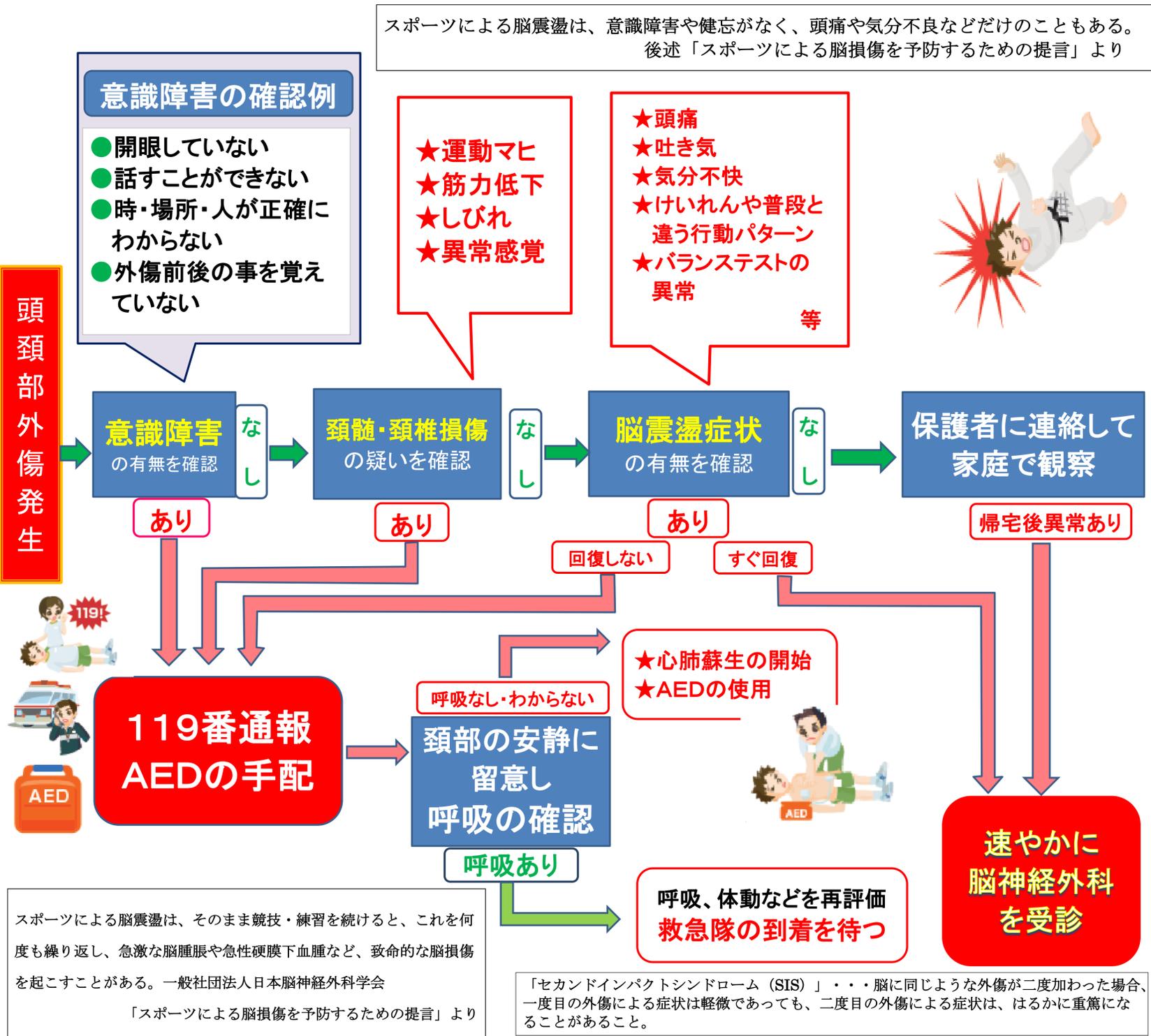
※2箇所に対角直径を計測し、
2箇所とも基準を満たしていること

注意!

- 頭頸部や顔面に強い衝撃を受けた時は**
- ◇**安静にし、すぐに専門医の診察を!**
 - ◇**本人が「大丈夫」と言っても競技に復帰させない!**
- ※意識があっても生命にかかわる場合があります**

頭頸部外傷発生時の対応フローチャート

スポーツによる脳震盪は、意識障害や健忘がなく、頭痛や気分不良などだけのこともある。
後述「スポーツによる脳損傷を予防するための提言」より



スポーツによる脳震盪は、そのまま競技・練習を続けると、これを何度も繰り返し、急激な脳腫脹や急性硬膜下血腫など、致命的な脳損傷を起こすことがある。一般社団法人日本脳神経外科学会
「スポーツによる脳損傷を予防するための提言」より

「セカンドインパクトシンドローム (SIS)」・・・脳に同じような外傷が二度加わった場合、一度目の外傷による症状は軽微であっても、二度目の外傷による症状は、はるかに重篤になることがあること。

フローチャートは、独立行政法人日本スポーツ振興センター『スポーツ事故防止ハンドブック』より
監修:長野県日体協公認スポーツドクター協議会
作成:長野県教育委員会事務局スポーツ課学校体育係



- ・出欠確認 [南信高体連剣道専門部委員長 木下 孝繁]
- ・大会長挨拶 [長野県高体連剣道専門部長 鈴木 道穂]
- ・審判長挨拶 [穂高商業高等学校 青柳 俊幸]
- ・専門部より [長野県高体連剣道専門部委員長 榛葉 亨]
- ①専門委員長より
 - ア、「全国高体連申し合わせ事項」「高体連努力目標」について（確認）
 - イ、全国専門委員長会報告
- ②足袋・サポーター使用許可について
 - 届け出の必要はありません。ただし床に接する面に皮・合皮・ゴムが貼ってあるもの、バレーボールのひざ当てのように厚みのあるものは使用不可。
- ③試合会場・試合日程について
 - ア、試合場は、本部席に向かって右側第1・第2試合場、左側第3・第4試合場です。
 - イ、昼食時間は、1日目個人戦終了後、2日目男子準々決勝終了後を予定しています。
 - ウ、個人戦表彰式は、閉会式に合わせて行う予定です。
 - エ、試合順は、大会プログラムを参照して下さい。
 - オ、個人戦・団体戦ともに三位決定戦を行います。
 - カ、試合場に入れるのは監督・登録選手（登録選手5名以下の場合、マネージャー1名可。個人戦の場合は、監督代行で1名可）のみです。応援はフェンスの外から行って下さい。
 - キ、審判目合せは、1日目個人戦2試合終了後・団体戦1試合終了後、2日目団体戦1試合終了後実施して下さい
 - ※各試合場の審判主任は審判長へ報告して下さい。
- ④試合方法について
 - ア、個人戦 4分3本勝負。勝敗が決しない場合、時間を区切らず延長戦を行う
 - ※延長開始から15分を目安に給水時間を設ける。
 - イ、団体戦 4分3本勝負、延長2分1回。勝敗が決しない場合引き分け
 - ※勝敗が決定した後の延長戦は行わない。
 - ※代表戦の場合、4分1本勝負。勝敗が決しない場合延長戦を行う（時間無制限）。
- ⑤選手の棄権、変更について
 - 団体戦は変更届けの用紙を提出して下さい（用紙は本部にあります）。
- ⑥竹刀の検量について
 - ※検量は1回のみ、1度通った竹刀は監督が点検して下さい。
 - ア、竹刀には校名・氏名を明記すること。
 - イ、模様付鏝・滑り止め加工の柄の使用は使用禁止します。
 - ウ、検量に通らなかった竹刀は本部預かりとします（返却は個人戦のみの出場者は個人戦終了後、団体戦出場者は自校の全試合終了後に返却します）。
- ⑦上位大会の出場権申込について
 - ※閉会式終了後行います（個人戦のみで早く帰る学校は随時本部にて）。
 - ア、北信越新人大会 2/1（土）～2（日）富山県砺波市 ・男女団体各4校
 - イ、全国選抜大会予選会 1/12（日）※会場は未定（台風19号の影響により調整中）
- ⑧ビデオ撮影は2階ギャラリーからお願いします。※フラッシュ撮影、ビデオのレーザー禁止
- ⑨審判をされない監督・外部指導者の方は、定められた服装以外はプレートをつけて下さい。
- ・諸連絡
 - ①会場校より
 - ②宿泊業者より
 - ③学校剣道連盟より
 - ※認知書の原本とオーダー表・個表を提出して下さい。

令和元年度 長野県高等学校新人大会剣道大会

出場チーム顧問および応援の皆様方へのお願い。

高体連剣道専門部

このたびの台風19号の災害により、被害に遭われた方々にたいしまして、心よりお見舞い申しあげます。

当初の予定では会場を長野運動公園総合体育館としてありましたが、被害に遭われた方の避難所として使用されていますので、今回松代高校に急遽お願いをいたし、会場として使用することができることとなりました。

学校という施設のため、体育館には応援できるスペースと、校内の駐車スペースが狭いため、応援で来られる方には大変ご迷惑をおかけすることとなります。

大変申し訳ありませんが、このたびの災害状況をご理解いただき、スムーズに大会が行われますよう、ご協力をお願いいたします。

〔駐車場について〕

- ・学校敷地内は、役員・審判員・監督といたします。
- ・応援の方々には旧松代駅および「コトリの湯」の駐車場を使用してください。
- ・路上駐車、近隣の店舗への駐車、青垣公園への駐車をしないようにしてください。
- ・朝夕の送迎で学区周辺が混雑することが考えられます。スムーズに乗り降りができますようお願いします。（近隣の方のご迷惑にならないようお願いします。）

〔応援について〕

- ・会場ギャラリーでの応援をされる場合は、場所を独占せず、多くの方が応援できますよう、交代をしながらお願いいたします。
- ・会場ギャラリーは選手の更衣等の控え場所となります。選手を優先としますので、空いたスペースにて応援をお願いします。（体育館フロアは、役員、審判員、顧問、選手、補助員のみとなります。）
- ・会場ギャラリーでの応援をされる場合は、場所を独占せず、多くの方が応援できますよう、交代をしながらお願いいたします。

* 駐車に関するトラブルにつきましては、専門部では対応はできません。

A 表

保険会社への報告のための基礎資料となります。
ご記入の上、開催県の専門部にご提出ください。

各校顧問 → 専門部

No. _____

報告日 年 月 日

2019年度活動状況報告書

大会名 _____

学校名 _____

顧問名 _____

日 程	エントリー選手	左記以外の選手	マネージャー	教員・職員・外部指導者
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
/				
合 計	0	0	0	0

* 日程が重複する場合は、合計日数に算入しない。例) 出発日後、抽選会有一些の場合。

* エントリー選手以外の選手とはエントリーされていない応援・補助員などの部員をさします。

* 選手と応援・補助員の人数が重複しないように注意してください。エントリー選手が試合後、同日に補助員や応援を行った場合はエントリー選手として計算してください。

例) 同一競技日に選手として出場した生徒が、別の生徒の試合の補助員として手伝った

エントリー選手 1名 左記以外 0名

* 団体戦、個人戦が混在する場合、同一競技日の選手人数が重複しないように注意してください。

例) 同一競技日に、個人戦選手5名、団体戦10名、両方参加(重複)した選手3名の場合。

選手数 : $5 + 10 - 3 = 12$ 名となります。(1日に何試合出場しても、延べ1名のカウントとなります)

各校顧問は、自チーム競技終了日までに専門部に提出すること

会場が複数の場合には競技終了会場にて提出すること